

なんか やってま〜す

～福祉委員情報紙～

ナンバー 010
発行 平成24年3月
発行元 福祉委員幹事会
(坂井市社会福祉協議会)

ある日の様子

9時を過ぎたころから、「今日もまた頼むわのお～」とおばちゃん達が元気な笑顔でやってきます。ここは、社協指導のもと、「介護予防目的」のために開催しているサロン(月4回開催)です。もう17～18年続いていて、そのころからの利用者も何人かいるようです。

昨年11月、丸岡町内「いきいきサロンのつどい」での発表会の練習の際、上だけ揃えた衣装を着て、「ねえちゃん、やっぱ下は黒でないと目立たんざあ～」「帯は前で結んだらカッコいいんでは」と逆アドバイス。「ほやのお、それがいいのお～」と笑ってあいづちを打つ。そして迎えた本番、舞台上で一生懸命踊る姿に思わず、ありがとうと心で手を合わす。普段のサロンでは見られないこの光景に、私は元気と勇気もらい、携わることの喜びを感じました。こうしたサロンが地域の中にたくさんでき、人と人のふれ愛から「絆」で結ばれる「地域づくり」。そんなお手伝いが少しでもできるよう頑張りたいと思う新年です。



「いきいきサロンのつどい」で発表するふれ愛サロンの利用者とスタッフの方々 (平成23年11月9日 丸岡町)

～高椋西部ふくしの会～

高椋西部地区は人口約1,500人、400世帯からなる地区で、9名の福祉委員がいます。今回紹介した「ふれ愛サロン」以外にも、ふくしの会では、ふれ愛まつり、福祉マップ(支え合いマップ、災害福祉マップ)づくり、福祉委員と民生委員での連絡会議を主に行っています。

福祉委員 高原尚美さん(坂井町)に 聞いてきたぞ～

地区の福祉委員を受けて2年目!何ひとつわからず戸惑うことばかり。

私の上新庄地区では、月1回、高齢者のサロンを開いています。民生委員さん、ボランティアの方々と一緒にお手伝いをさせていただき、お年寄りとのふれあいを通して、私自身が支えられたのではないかと実感しています。

サロンは10周年を目前にしていますが、地区の方々との絆を大切に、みなさんのふれあいの場であってほしいと思います。

長い間福祉委員をさせていただきました。多くのことを学びました。そしてたくさんの方が動く姿の中で、一つの言葉を教えてもらいました。

「まず動く。愚痴は後で。」という言葉です。自分ができるべき仕事で、あれこれ愚痴や批判をしながら、動きが遅くなるよりも、とにかく自分ができることを一生懸命にさせていただくことです。一生懸命に動いた後では、達成感と満足感が湧いて、最初に思った愚痴の気持ちはなくなってしまうものだと思います。

三国町 石丸博巳

福祉委員さんに まいてみよう



《キーワード》
2年間を終えて

今回で福祉委員を交代される方、引き続き新任福祉委員の良きサポーター、相談相手としてご協力いただく方、お疲れ様でした。今回は2年間（平成22年4月1日～24年3月31日）福祉委員として活動された方から任期を終えて、どのようなお気持ちか聞いてみたいと思います。

あるとき、福祉委員になって話をするようになった地域の高齢者のひとりから、「あなたが一番よう訪ねてきてくれた」と言われました。この一言で、地域の方と会って話すことがどんなに大事かを知りました。そして、福祉の大切さを改めて感じました。
今回、福祉委員を交代しますが、今後も何らかの形で地域の福祉に協力したいと思っています。



左より
吉田代表委員長、牧野代表委員、高村代表委員

2年間で色々な研修・講演や福祉マップ作りを体験させていただきました。そのうちに福祉は地域の方が少しでも安心して暮らせるためにあるのだと思いました。私は引き続き委員を務めることになり、皆さんに嫌われない様な世話焼きおばさん（おばあちゃん？）になっていけたらと思っています。



左より
細川代表委員、中嶋代表委員、谷口代表委員

私の地域は高齢化が急激に進んでいる地区です。「誰もが安心して暮らせる住みよいまちづくり」を考えようと福祉委員活動をやってきました。
しかし、「サロン活動」「見守り活動」「災害マップづくり」などを積極的に推進するには地域役員・社協と協力しながらやっていくことが肝心だと思います。「地域の助け合い活動」を進めるために、微力ですが、福祉委員を続けてお役に立ちたいと思っています。



坪内代表委員 小林代表委員

社協情報	
掲載等のお問い合わせは	
みくに支部	Tel 82-1170 Fax 82-1593
まるおか支部	Tel 68-5060 Fax 67-2950
はるえ支部	Tel 51-4545 Fax 51-6269
さかい支部	Tel 67-0640 Fax 67-2807

「福祉委員とは？」の疑問を抱え、三国・丸岡・坂井町の先輩諸氏の教えを受けながら6年間、この間、多くの方々に出会うことができました。
その中で、「福祉とは？」を考えると、高齢者・子ども・要援護者の方たちとの付き合いだけが福祉ではなく、日頃地域の人たちとお互いに思いやりや助け合いの心を持って付き合い合うことが非常に大切だと実感しました。その付き合いこそが、つまりは、お互いがお互いを見守り合うことになるのではないかと思います。
「福祉委員とは」、そういった付き合いの、まず第一歩を踏み出す人ではないかと考えています。今後も、地域の人たちとの付き合いを大切にしていきたいと思います。

春江町福祉委員
吉田 弘治

※「なんかやっつてま〜す」は、ホームページでも掲載しています。 <http://www.sakaicityshakyo.jp/>